

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(明戸中学校)

## 平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	数学	英語
<b>明戸中</b>	<b>上回った</b>	<b>上回った</b>	<b>下回った</b>
<b>埼玉県</b>	<b>71</b>	<b>52</b>	<b>46</b>
<b>全国</b>	<b>69.8</b>	<b>51.0</b>	<b>45.6</b>

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	明戸中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	96.1	91.5	91.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88.5	79.5	78.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.2	91.5	91.3
	読書は好きですか	76.9	67.0	66.0
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	84.6	57.8	53.0
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	80.8	74.2	69.2
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	88.4	83.6	79.2
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	92.3	68.7	65.3
教科への関心	国語の勉強は好きだ	60.6	61.8	61.4
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	88.4	90.0	88.7
	数学の勉強は好きだ	84.6	56.5	56.7
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	84.6	75.4	75.8
	英語の勉強は好きだ	65.4	52.8	51.9
	英語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う	92.3	89.0	87.5
ICT	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか	96.2	93.7	93.3
	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	96.2	60.4	61.1
その他	自分には、よいところがあると思う	88.5	82.4	80.0
	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	92.3	70.9	66.4
	学校に行くのは楽しいと思いますか。	84.6	82.9	81.8
	将来の夢や目標をもっている	88.4	67.8	66.3
	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.2	94.5	94.6
	今住んでいる地域の行事に参加している	73.1	36.1	38.0

## 【質問紙分析】

- ・家庭学習の習慣は身に付きつつある。よりよい学習計画・家庭での生活を検討する必要がある。
- ・基本的な生活習慣はたいへんよく身につけている。継続させたい。
- ・学校に行くことが楽しく、自己有用感が高い。意欲的に生活しようとする姿勢がうかがえる。

## 全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

### 【国語】

- 4ー歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題(いひける)」
  - 1ー「インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する問題」
  - 2ー「『落胆する』の意味として適切なものを選択する問題」
  - 2三ア「それぞれの文章で述べられている『読書の楽しみ』として適切なものを選択する問題」
  - 3ー「レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する問題」
  - 3四「『判じ絵』の解説の面白さと見出しを付けた部分に具体例として示す『判じ絵』を選択し、その解説の仕方を書く問題」
  - 1二「インターネットの記事を読んで気づいた点として適切なものを選択する問題」
  - 4三「現代語で書かれた竹取物語のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く問題」
- 設問を読み、適切なものを選択する問題に関しては自信を持って解くことができている。
- 3一、3四、どちらも文章の構成を意識して書き、説明することに対して課題があることがわかる。
  - 特に記述の問題に関して、無回答の生徒が多い。特に4三は最後の問題であり、時間配分に課題がある。

### 【数学】

- 大問6(1)、文章問題の意図は概ね理解している。
- 大問7(1)、四分位範囲の求め方は、多くの生徒ができている。
- 大問2は、文字式の計算は、多くの生徒ができている。
- 大問9(1)で、2直線が平行であることを証明することができない生徒が多かった。
- 大問9(2)で、図形の性質の理解と、図形の問題を自力で証明することに、苦手意識を持っている生徒が多い。
- 大問3で、空間における平面が1つに決まる条件の、意味理解が不十分であった。

### 【英語】

- 「書く」「読む」問題よりも、「聞く」問題の正答率が高かった。

○最後の問題 10 の英作文の問題において、例え間違っているとしても頑張って英文を作ろうとする意欲を感じることができた。

●英文の構成が未だに理解できていない生徒が多いため、英文に正確さが大きく欠如している。

## 課題への取組・改善策

### 【国語】

- ・授業の中で、文章の構成を意識して書き、推敲を繰り返すといった活動を通して、読みやすくわかりやすい文章を書けるようにする。
- ・「作品の話の展開を捉えること」「設問が問う内容を理解すること」に関しては、定期テスト等の解説時に「どこに着目すべきか」に重点を置いて指導する。
- ・引き続き、授業のみならず語句ノートやその他教材を活用し、言語についての知識・理解を継続的に取り組むことで高めていく。

### 【数学】

- ・授業の中で、数学的な表現を用いて説明する問題に多く取り組ませる。特に文字式を使った説明問題を多く取り扱う。
- ・教え合い学習を積極的に取り入れ、相手に自分の考えを筋道を立てて説明する練習をさせる。
- ・振り返り学習(1・2年生)を授業の中に取り入れ、日頃から復習の習慣を身につける。
- ・様々な問題を数学的に解決する練習を行い、その問題を解答するだけでなく、問題解決の方法を数学的に説明する練習を行う。

### 【英語】

- ・「聞きとる」問題については、ALTとの TT などにおいて、生きた英語に慣れさせることによって、さらに正答率が上がる。
- ・英文の構成を、理解させるため、常に基礎・基本を意識した授業展開を進める。
- ・毎日の英語の家庭学習の習慣化を図る。
- ・英検 3 級取得を目指す中で、「聞き取る」「英文を作る(書く)」、さらには、適切な英語を「話す」力を身につけさせる。

### 【その他】

- ・授業では、意図的に理由を発表する場を設定し、言語活動の充実をより図っていく。
- ・高い自己有用感や学校生活での安心感、将来への夢や目標を持てる生徒。その生徒個々を理解し、意欲を支える指導援助を行う。